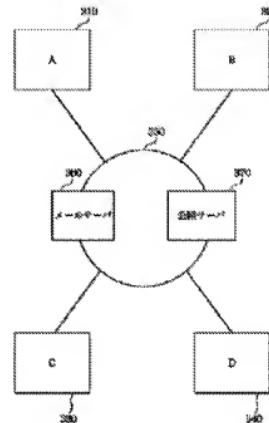


**DEVICE AND SYSTEM FOR PROCESSING ELECTRONIC MAIL****Publication number:** JP10240649**Publication date:** 1998-09-11**Inventor:** USHIKU TOYOKO**Applicant:** CANON KK**Classification:****- international:** G06F13/00; G06Q10/00; H04L12/54; H04L12/58; G06F13/00; G06Q10/00; H04L12/54; H04L12/58; (IPC1-7): G06F13/00; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58**- European:** G06Q10/00; F2; H04L12/58G**Application number:** JP19970278732 19971013**Priority number(s):** JP19970278732 19971013; JP19960350207 19961227**Report a data error here**

Abstract of JP10240649

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To reduce labor for opening to the public by opening a mail to be opened to the public without performing a complicated operation. **SOLUTION:** When a user A transmits an electronic mail addressed to the user B, a mail server 360 receives the electronic mail transmitted from the user A and transmits it to an open server 370. The open server 370 receives the electronic mails from the mail server 360, extracts a specific electronic mail from the received electronic mails based on filtering conditions for serving the specified electronic mail, controls the extracted electronic mail to the public and returns the non-extracted electronic mail to the mail server 360. That is, when the users C and D access the open server 370, the electronic mail opened to the public is viewed.

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

特開平10-240649

(43)公開日 平成10年(1998)9月11日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 0 6 F 13/00  
H 0 4 L 12/54  
12/58

識別記号  
3 5 1  
3 5 7

F I  
G 0 6 F 13/00  
H 0 4 L 11/20

3 5 1 G  
3 5 7 Z  
1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数12 O.L. (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平9-278732  
(22)出願日 平成9年(1997)10月13日  
(31)優先権主張番号 特願平8-350207  
(32)優先日 平8(1996)12月27日  
(33)優先権主張国 日本 (JP)

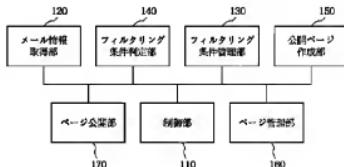
(71)出願人 000001007  
キヤノン株式会社  
東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
(72)発明者 牛久 豊彦  
東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内  
(74)代理人 弁理士 丸島 優一

## (54)【発明の名称】電子メール処理装置及びシステム

## (57)【要約】

【課題】公開すべきメールを、煩雑な操作を行うことなく公開することによって、公開のための労力を軽減する。

【解決手段】ユーザAが、ユーザB宛ての電子メールを送信すると、メールサーバ360は、ユーザAから送信された電子メールを受信し、公開サーバ370に送信する。公開サーバ370は、メールサーバ360からの電子メールを受信して、特定の電子メールを抜き出すためのフィルタリング条件に基づいて、受信された電子メールの中から、特定の電子メールを抽出し、抽出された電子メールを公開し、抽出されなかった電子メールをメールサーバ360に返信する。そして、ユーザC, Dが、公開サーバ370にアクセスすると、公開されている電子メールを見ることができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】電子メールを送受信するメールサーバから電子メールを受信する受信手段と、

特定の電子メールを抽出するための条件を設定する条件設定手段と、

前記条件設定手段により設定された条件に基づいて、前記受信手段により受信された電子メールの中から、特定の電子メールを抽出する抽出手段と、

前記抽出手段により抽出された電子メールを公開領域に公開する公開手段とを具備したことを特徴とする電子メール処理装置。

【請求項2】前記抽出手段により抽出された電子メールを、前記公開領域の形式に変換する変換手段を有し、

前記公開手段は、前記変換手段により変換された電子メールを公開することを特徴とする請求項1記載の電子メール処理装置。

【請求項3】時間間隔を設定するインターバル設定手段と、

前記インターバル設定手段により設定された時間間隔ごとに、前記公開領域を更新する更新手段とを具備したことを特徴とする請求項1記載の電子メール処理装置。

【請求項4】電子メールの公開期限を設定する期限設定手段と、

前記期限設定手段により設定された公開期限を過ぎた電子メールを、前記公開領域から削除する削除手段とを具備したことを特徴とする請求項1記載の電子メール処理装置。

【請求項5】前記抽出手段により抽出されなかった電子メールを前記メールサーバに返信する返信手段を具備したことを特徴とする請求項1記載の電子メール処理装置。

【請求項6】前記抽出条件は、1つのキーワード若しくは複数のキーワードの組み合わせであることを特徴とする請求項1記載の電子メール処理装置。

【請求項7】第1の端末と、第2の端末と、第1のサーバと、第2のサーバとからなる電子メール処理システムであって、前記第1の端末は、前記第1の端末以外の端末宛ての電子メールを送信し、

前記第1のサーバは、前記第1の端末からの電子メールを受信し、

前記第2のサーバは、前記第1のサーバからの電子メールを受信し、特定の電子メールを抽出するための条件に基づいて、受信された電子メールの中から、特定の電子メールを抽出し、抽出された電子メールを公開領域に公開し、

前記第2の端末は、前記第2のサーバにアクセスし、前記公開領域に公開された電子メールの情報を受けすることを特徴とする電子メール処理システム。

【請求項8】前記第2のサーバは、前記抽出された電子メールを、前記公開領域用の形式に変換し、変換された電子メールを公開することを特徴とする請求項6記載の電子メール処理システム。

【請求項9】前記第2のサーバは、設定された時間間隔ごとに、前記公開領域を更新することを特徴とする請求項6記載の電子メール処理システム。

【請求項10】前記第2のサーバは、設定された電子メールの公開期限を過ぎた電子メールを、前記公開領域から削除することを特徴とする請求項6記載の電子メール処理システム。

【請求項11】前記第2のサーバは、抽出されなかつた電子メールを前記第1のサーバに返信することを特徴とする請求項6記載の電子メール処理システム。

【請求項12】前記抽出条件は、1つのキーワード若しくは複数のキーワードの組み合わせであることを特徴とする請求項6記載の電子メール処理システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、特定の条件を満たす電子メールを公開するための電子メール処理装置及びシステムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】オフィスのペーパレス化に伴い、会社の上層部からの通達類を紙で配布せず、管理職宛に電子メールで直接配布することが多くなった。

【0003】従来、このようなペーパレス化したオフィスでは、一般的に、通達類を受け取った管理職は、その直属の部下に対して、送られてきた電子メールを転送することが多い。

【0004】しかしながら、この従来の手法では、同じ通達類のデータのコピーを各部下が持つことになるので、各部下の所有する端末の記憶容量が無駄になり、また、データの管理が各個人に任されるため、必要なものを消してしまうなどの事故が発生する可能性が高かった。

【0005】そこで、近年、公開サーバが登場したので、管理職が、送られてきたデータを公開サーバに登録しさえすれば、部下は、公開サーバに登録されたデータを見ることができ、管理職から部下へのデータ伝達の際のデータの2重管理の問題を解決できるようになった。

【0006】しかしながら、この方法でも、管理職が、通達類のメールであることを認識して、それを公開ページの形に纏集して公開しなければならなかつたので、過大な労力を必要とした。

【0007】そこで、電子メール送受信アプリケーションを用いる方法もある。電子メール送受信アプリケーションの中には、フィルタリング条件といわれる条件を設定することにより、送られてきた電子メールを条件に合致したメールであるかどうかを認識し、特定のメールの格納庫であるメールボックスに仕分けして格納するフィ

ルタリング機能を備えているものがある。この仕組みを利用して、管理職は、電子メール送受信アプリケーションを起動して通常用メールボックスを作成し、自動的に通達メールだけを集めることができる。そして、管理職が、メールボックスの内容を公開サーバにアップロードする操作を行っていた。

#### 【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例では、送られてきた新しい通達メールを公開サーバに反映させるには、まず、電子メール送受信アプリケーションを起動し、メールサーバからメールを取得してメールボックスに仕分ける操作を行い、通達メールボックスの内容を更新する必要があった。

【0009】そして、更に、公開サーバに通達メールボックスが更新されたことを通知して、公開サーバ上のメールボックス公開ページの内容を更新する操作を行う必要があった。

【0010】このように従来の方法では、メールを公開するまでの操作手順が煩雑である。

【0011】本発明は、以上の問題点に鑑みなされたものであり、公開すべきメールを、煩雑な操作を行うことなく公開することを目的とする。

#### 【0012】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の電子メール処理装置は、電子メールを送受信するメールサーバから電子メールを受信する受信手段と、特定の電子メールを抽出するための条件を設定する条件設定手段と、前記条件設定手段により設定された条件に基づいて、前記受信手段により受信された電子メールの中から、特定の電子メールを抽出する抽出手段と、前記抽出手段により抽出された電子メールを公開領域に公開する公開手段とを設けた。

【0013】また、上記目的を達成するために、本発明の電子メール処理システムは、第1の端末と、第2の端末と、第1のサーバと、第2のサーバとからなる電子メール処理システムであって、前記第1の端末は、前記第1の端末以外の端末宛ての電子メールを送信し、前記第1のサーバは、前記第1の端末からの電子メールを受信し、前記第2のサーバは、前記第1のサーバからの電子メールを受信し、特定の電子メールを抽出するための条件に基づいて、受信された電子メールの中から、特定の電子メールを抽出し、抽出された電子メールを公開領域に公開し、前記第2の端末は、前記第2のサーバにアクセスし、前記公開領域に公開された電子メールの情報を受信する。

#### 【0014】

##### 【発明の実施の形態】

(第1の実施形態)以下、本発明の第1の実施形態について説明する。

【0015】図1は、本第1の実施形態に係るネットワ

ーク構成図である。ユーザA、B、C、Dが夫々所有する、端末A310、端末B320、端末C330、端末D340が、ネットワーク350を介して、メールを配信するメールサーバ360とメールを公開する公開サーバ370とに接続されている。

【0016】図2は、図1中の各端末内のハードウェア構成図である。311はCPUであり、端末全体の制御を行つ。312はROMであり、様々なアプリケーションプログラムを格納する。313はRAMであり、CPU311による作業領域として使用される。314はCRTディスプレイであり、CPU311による処理内容を表示する。315はプリンタであり、CPU311による処理結果を印刷する。316はインタフェース機器であり、ネットワーク350への接続部となる。なお、メールサーバ360と公開サーバ370のハードウェア構成も、CRTディスプレイ314やプリンタ315が存在しないことを除けば、各端末のハードウェア構成と、ほとんど同じである。

【0017】図3は、図1中の公開サーバ370中のROMに記憶されている、本第1の実施形態に係る電子メール処理プログラムの構成ブロック図である。

【0018】同図において、110は全体を制御する制御部、120はメールサーバからメール情報を取得するメール情報取得部、130はメールをフィルタリングする条件を管理するフィルタリング条件管理部、140はメール情報取得部120が取得したメール情報をフィルタリング条件管理部130に管理されている条件に合致するか否かを判定するフルクリーリング条件判定部、150はフィルタリング条件判定部140により合致すると判定されたメール情報を公開ページの形式に変換する公開ページ作成部、160は公開ページ作成部150によって作成されたページを管理するページ管理部、170はクライアントアプリケーションの求めに応じてページ管理部160で管理されているページを公開するページ公開部である。

【0019】図4はフィルタリング条件の例であり、発信者がユーザA、受信者がユーザBであり、電子メールの用件ファイルに記述された用件の中に「通達」という文字列を含むことを条件としている。

【0020】フィルタリング条件は、フィルタリング条件を記述したファイルをフィルタリング条件管理部130に指定することによって設定する。

【0021】この条件に合致した用件の電子メールがユーザAからユーザBに送られたときの動作を、図5と図6を使用して説明する。

【0022】図5はユーザAがユーザBに対して出したメールが、第三者であるユーザC、Dに対して公開される経路を示している。

【0023】同図において、端末A310は電子メール送受信アプリケーションを、端末B320は電子メール送受信アプリケーションを、端末C330は公開ページ閲覧ア

アプリケーションを、端末D340は公開ページ閲覧アプリケーションを、それぞれROM内に搭載しており、また、380はユーザA（すなわち、端末A）が送ったメール情報を示している。

【0024】ユーザAは電子メール送受信アプリケーションを使用して、ユーザB宛のメール情報380を作成し、メールサーバS360に対して送付する。通常はユーザBが電子メール送受信アプリケーションによりメールサーバS360からメール情報を380を取得する。

【0025】しかしながら、本第1の実施形態では、ユーザBがメール情報を380を取得する代わりに、公開サーバS70がメールサーバS360からメール情報を380を取得し、電子メールの発信者がAであり、用件フィールドに「通達」という文字が含まれていると、そこで公開する。ユーザC、Dは各々の公開ページ閲覧アプリケーション（いわゆる、WWWブラウザなど）を使用して公開サーバからメール情報を380の情報を取得することができる。なお、電子メールの発信者がBでないか、用件フィールドに「通達」という文字が含まれていない場合は、電子メールを公開サーバS70からメールサーバS360に送り返す。

【0026】では、公開サーバS70が、メールサーバS360からメール情報を380を取得し、公開するまでの処理を、図6のフローチャートを用いて説明する。

【0027】図6は、公開サーバS70内の制御部110の行う処理の流れを示すフローチャートである。

【0028】制御部110は、一定の間隔で図6に示される処理を行う。ステップS410において、メール情報取得部120はメールサーバS360に対し、未処理メールがあるかどうかを問い合わせる。未処理メールがなければ処理を終了し、未処理メールがあれば、ステップS420において、メール情報取得部120は、未処理メールの先頭のメールを取り出す。

【0029】次に、ステップS430において、フィルタリング条件判定部140が、メール情報を取得部120から、対象としているメール情報を380を受け取り、フィルタリング条件判定部130が管理しているフィルタリング条件を取り出して、メール情報を380がフィルタリング条件に合致しているかどうかを判定する。この場合の判定においては、メール情報を380が持つ受信者情報がユーザBであるか、発信者情報がユーザAであるか、また、電子メールの用件フィールドに「通達」という文字列が含まれているかが調べられ、すべての条件が成立立つときに、フィルタリング条件に合致しているものと見なす。

【0030】フィルタリング条件に合致していると判定された場合、ステップS440に進み、公開ページ作成部150が、対象としているメール情報を380を公開ページの書式に変更する。

【0031】公開ページ作成部150は、公開ページを作成するためのスケルトンを持つ。このスケルトンは公

開ページを記述するための言語であるHTML言語に、電子郵件を公開するための機能を追加した言語で記述されている。

【0032】図7、図8はスケルトンの例である。このスケルトンの例では、条件に合致したメールの一覧を表示する一覧ページ（図7）と、各メール情報を380を個別のページとして表示するメール情報ページ（図8）とに分けられている。

【0033】図7において、710は一覧ページのスケルトンの言語記述、720は作成された一覧ページの言語記述、730は作成された一覧ページの画面上のイメージ、740は各メールの発信者フィールド、750は各メールの発信日付フィールド、760は各メールの用件フィールド、770はメール情報ページへのリンク情報フィールドであり、また、図8において、810はメール情報ページのスケルトンの言語記述、820は作成されたメール情報ページの言語記述、830は作成されたメール情報を380の画面上のイメージ、840は各メールの発信者フィールド、850は各メールの発信日付フィールド、860は各メールの用件フィールド、870は各メールの本文フィールドを示している。

【0034】公開ページ作成部150は、まず各メールのメール情報をページの言語記述20をメール情報をページスケルトン言語記述810を用いて作成する。メール情報をページスケルトン言語記述810の本文フィールドを各メールの本文情報をおさかることにより、各メールのメール情報をページ言語記述820が作成される。これらのページはページ管理部160によって管理される。

【0035】メール情報をページが完成すると公開ページ作成部150は、そのページに到達するためのリンク情報を持つ一覧ページの言語記述720を、一覧ページスケルトン言語記述710の中に記述されている各メールの発信者フィールド740、発信日付フィールド750、用件フィールド760、リンク情報をフィールド770を各メールの発信者、発信日付、用件情報に置き換えることにより、一覧ページ言語記述20が作成される。

【0036】なお、図6のステップS430において、フィルタリング条件に合致していないと判定された場合、ステップS450に進み、ステップS420で取得したメールをメールサーバS360に戻すとともに、処理済みのメール情報を扱う。

【0037】そして、ステップS440、ステップS450からは、ステップS410に戻る。

【0038】そして、第三者であるユーザC、Dが公開されたメール情報を見るためには、公開ページ閲覧アプリケーションを使用して、公開サーバS70に公開を依頼する。公開を依頼された公開サーバS70は、ページ管理部160にて管理されているメール情報を公開用のページを取り出して、ページ公開部170によって公開ページ閲覧

アプリケーションに対して公開ページデータを送る。こうすることによって、ユーザC、Dは公開された情報を閲覧することが可能となる。

【0039】(第2の実施形態)図9は、本発明の第2の実施形態に係る電子メール処理プログラムの機能ブロック図である。この図9は、図3に示した第1の実施形態の構成に、新たに、電子メールを公開する期間を管理する公開期限管理部510と、電子メールサーバに電子メールが到達しているかどうかを調べにいく時間的な間隔を管理するインターバル管理部520を追加したものである。

【0040】図6は、本第2の実施形態における、公開サーバS370内の制御部110の行う処理の流れを示すフローチャートである。

【0041】制御部110は、インターバル管理部520が管理している時間間隔ごとに図6で示される処理を行う。この処理は、メールサーバS60が持っている電子メールをすべて処理するところまで(ステップS410～S450)は、第1の実施形態と同じであるので、ここでは説明を省略する。

【0042】そして、すべての電子メールを処理した後、ステップS410において、未処理メールは存在しないと判定されるので、ステップS610に進む。

【0043】ステップS610において、ページ管理部160が管理している電子メール公開ページに記載されている電子メールが、公開期限管理部510で管理されている公開期限を過ぎていないかどうかをチェックする。

【0044】期限を過ぎているものが発見された場合は、ステップS620に進み、期限切れ電子メールを削除し、公開ページ作成部150にて再度ページが作成し直され、ページ管理部160に格納し直される。

【0045】また、期限を過ぎているものが発見されなかつた場合は、そのまま処理を終了する。

【0046】このようにして、第2の実施形態によれば、電子メールの到着を調べとともに、古いデータを削除していくことができる。

【0047】(第3の実施形態)本発明の第3の実施形態に係る電子メール処理プログラムに関する概念図は第1の実施形態と同様、図3で示される。また、情報の公開経路は図5で示される第1の実施形態と同様の経路である。また、処理手順も図6で示されているとおりで、第1の実施形態とはステップS430の条件合致判定処理が異なるだけで他の処理は第1の実施形態と同様である。そのため、ここではステップS430の条件判定処理についてのみ説明する。

【0048】図11は第3の実施形態で使用するフィルタリング条件を表現する言語の仕様を示すABNF記法である。

【0049】図12はフィルタリング条件の記述例である。この例は、「発信者がAに等しいか発信者に“B”

という文字列が含まれ、用件に“通達”という文字列が含まれ、本文に“社外秘”という文字列を含まないメールを、“通達書式”という名前の書式で“通達”という名前の公開場所で公開する。」ことを示している。

【0050】図13は、フィルタリング条件管理部130が図12の条件を指定された際に使用するデータ構造を表した図である。この図のように条件は木構造によって管理される。

【0051】フィルタリング条件判定部140はこの木構造のノードをたどって各メールが条件に合致するかを判定する。たとえば、ノードN1510では、ノードの左側の条件を調べ、真であれば右側の条件を調べその結果をノードの結果とする。左の条件が偽であれば、ノードの結果を偽とする。同様にノードN1520では左に記述されているフィールドの値をメール情報取得部120から得て、右側のノードの値を含んでいなければノードの値を真に、そうでなければ偽にする。このようにして木の頂上のノードの値が真であれば対象となったメールが条件に合致していると判定する。

【0052】このようにして、第3の実施形態によれば、高度な電子メールの抽出条件を指定することができる。

【0053】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、電子メールとして送られてきた第三者に公開すべきデータを、ユーザの操作を介することなく公開サーバに公開できるようになるため、公開のための無駄な労力を軽減することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施形態に係るネットワーク構成図である。

【図2】ネットワーク内の各端末内のハードウエア構成図である。

【図3】第1の実施形態に係る電子メール処理プログラムの機能ブロック図である。

【図4】フィルタリング条件の例を示す図である。

【図5】第1の実施形態における、各装置の関連を表す図である。

【図6】第1の実施形態において、制御部内で行われる処理を示すフローチャートである。

【図7】第1の実施形態において、一覧ページを作成するために使用されるスクレーンを表す図である。

【図8】第1の実施形態において、メール情報ページを作成するために使用されるスクレーンを表す図である。

【図9】第2の実施形態に係る電子メール処理プログラムの機能ブロック図である。

【図10】第2の実施形態において、制御部内で行われる処理を示すフローチャートである。

【図11】第3の実施形態における、フィルタリング条件の文法を表す図である。

【図1.2】第3の実施形態における、フィルタリング条件の例を示す図である。

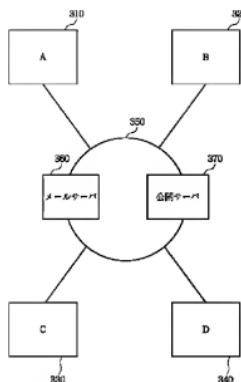
【図1.3】図1.2のフィルタリング条件を指定された際に使用されるデータ構造を示す図である。

【符号の説明】

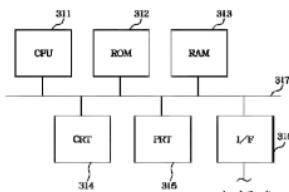
- 110 制御部
- 120 メール情報取得部
- 130 フィルタリング条件管理部
- 140 フィルタリング条件判定部
- 150 公開ページ作成部
- 160 ページ管理部
- 170 ページ公開部
- 310 端末A
- 311 CPU
- 320 RAM
- 330 CRTディスプレイ
- 340 プリンタ
- 350 インタフェース機器
- 360 バス
- 370 端末B
- 380 端末C
- 390 端末D
- 391 ネットワーク
- 392 メールサーバ
- 393 公開サーバ
- 394 電子メール

- 312 ROM
- 313 CPU
- 314 CRT
- 315 PRINTER
- 316 LAN
- 317 BUS
- 318 L/F
- 319 ネットワークへ

【図1】



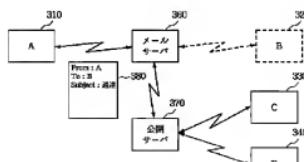
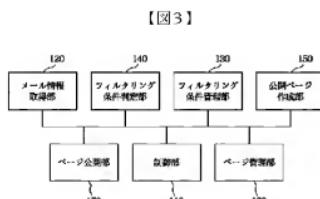
【図2】



【図4】

受信者	B
発信者	A
件名	文字列「通達」を含む
公開ページ	/通達/A.html

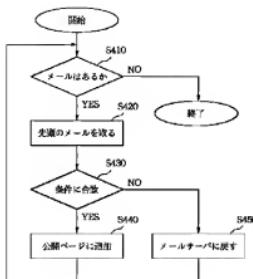
【図5】



【図1.2】

(sender equal "A" or sender contain "発信者") and  
subject contain "通達" and not (body contain "社外報")  
to "通達" with "検索部".

【図6】

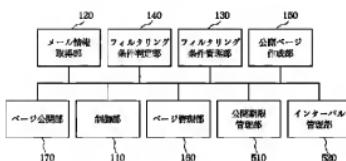


【図7】

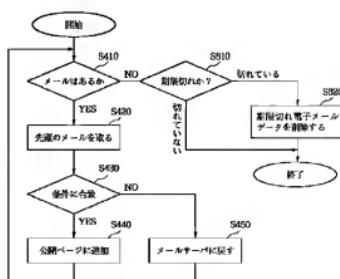
790

用件	照会者	日付
9月の人事異動について	新潟市人事課	9月 1日 15:40
北越銀行連絡の件	経営部厚生課	9月 8日 9:34
送達：賃貸住宅の曳走	実務部賃貸課	9月 10日 10:01
送達：賃貸会計手引の件	監査課	9月 15日 16:43

[图9]



10



【図8】

810

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE><% subject %></TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<B>件名 : </B><% subject %> NAD
<P><B>件名者 : </B><% sender %> 860
<P><B>件名受取人 : </B><% receiver %> 860
<P><B>件名本文 : </B>
<P><% body %>
</BODY>
</HTML>
```

800

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>T * * </TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<B>件名 : </B><% 9月の入審実動について
<P><B>件名者 : </B><% 請密個人審議
<P><B>件名受取人 : </B><% 9月1日 15:14
<P><B>件名本文 : </B>
<P><B>9月の入審実動についてお知らせします。9月に行われる入審実動は以下のとおりです。
<P>.....
</BODY>
</HTML>
```

800

件名:9月の入審実動について  
件名者: 請密個人審議  
件名受取人: 9月1日 15:14  
本文:  
9月の入審実動についてお知らせします。9月に行われる入審実動は以下のとおりです。  
.....

【図11】

フィック = 式 "to" 格納場所 "with" 公開告式名  
 式 = 論理和演算式 / 否定演算式  
 論理和演算式 = 論理積演算式 / 論理和演算式 "or" 論理積演算式  
 論理積演算式 = 関係演算式 / 論理積演算式 "and" 関係演算式  
 関係演算式 = 否定演算式 / 関係演算式 関係演算子 単純式  
 関係演算子 = "contain" / "equal" / "greater" / "less"  
 否定演算式 = "not" 式  
 単純式 = 預約フィールド名 / 文字列 / "( 式 )"  
 預約フィールド名 = "date" / "body" /  
                   "sender" / "receiver" / "subject"  
 文字列 = \*\*\* 1 \* 文字 \*\*\*  
 格納場所 = 文字列  
 公開告式名 = 文字列

【図13】

